

学校法人森学園、横浜に新たな「学びの多様化学校」を令和8年1月開校

— 社会的自律と未来への挑戦を育む、小中一貫の新しい学びの選択肢 —

学校法人森学園は、神奈川県より設置認可を受け、
文部科学省指定の「学びの多様化学校（いわゆる不登校特例校）」として、
令和8年（2026年）1月に私立義務教育学校「横浜きりん学園」を開校いたします。

【背景と目的】

近年、全国的に不登校児童生徒数は増加傾向にあり、横浜市も同様の課題を抱えています。特に、中学生になるタイミングでその数が増加することから、小中一貫での継続的な支援が重要であると考え、本校の設立に至りました。学びの多様化学校では、文部科学省の指定に基づき、不登校児童生徒の実態に配慮した「特別の教育課程」を編成した時間割で学習を進めます。本校は、横浜市栄区庄戸の旧庄戸中学校校舎を活用し、横浜の豊かな自然に囲まれた環境で、子どもたちが安心して過ごせる学習環境を整えました。従来の学校に通うことが困難な子どもたちにとって、安心して学び、社会的自立へと向かうための新たな選択肢となることを目指します。

【教育理念と目標】

「心を育む健康教育」を教育理念とし、「社会的自律に向かう力、より善い未来へ挑戦する力」を育むことを教育目標とします。

- ・ 朗らかに優しい心をもって行動する
- ・ 好奇心と想像力をもってじっくり考える
- ・ 身近な自然・文化を理解し、自信をもって表現する

【特色ある教育】

1. 総合的な学習（食育菜園・会社活動）の充実

学びの土台として校内の「食育菜園」での活動を重視し、教科横断型の探究学習を行います。

作物の栽培から収穫、調理といった一連の体験を通じて、学ぶ意欲と社会性を育みます。異年齢での学びの機会を充実させ、後期課程（8・9年生）では、キャリア教育として「会社活動」を実施し、協働して社会に貢献する喜びを学びます。

2. 心理教育的支援と個別指導計画

教職員チームが、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の福祉専門職と連携し、生徒一人ひとりのための「個別指導計画（IEP）」を作成します。この計画に基づき、学習面と生活面の両方で、個々の状況に応じたきめ細やかなサポートを行います。

登校時間にゆとりを持たせ、朝活（選択制）やこつこつタイム（個別の学習時間）など、登校しやすいタイミングや学習時間の工夫をしています。また、法人内に「子ども発達支援ビーンズキッズ&ジュニア」（放課後等デイサービス）を併設しており、療育と連携した一貫した支援を提供できる体制を整えています。後期課程では、所属学年で学習する科目の目標に準拠した学習評価を行い、生徒の希望と自己決定を尊重した進路選択を支援します。

3. 地域との積極的な交流

学校施設内に横浜市コミュニティハウスや、地域方が利用できるカフェテリアを設置し、地域に開かれた学校を目指します。地域の有識者を教育サポーターとして迎え入れるなど、多様な人々との交流を通じて、子どもたちの視野を広げ、社会とのつながりを育みます。



私たちは、横浜きりん学園での学びを通して、
子どもたちが過去への感謝と未来への挑戦を常に忘れずに成長してくれることを
心から願っています。



<学校・報道関係者に向けた学校説明会・内覧を実施します>

日時：令和7年10月16日(木)

場所：横浜きりん学園（〒247-0022 横浜市栄区庄戸3-1-1）

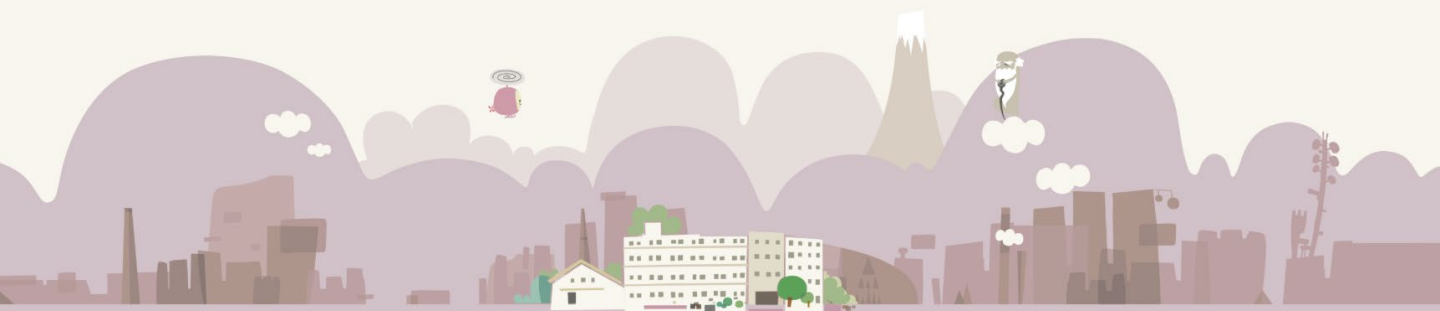
申込方法：右記QRコードまたは下記URLからお申込みください。

<https://forms.gle/BboT6NH2VmRWPnn6A>

※お申込みのない方の来場はお断りします。



詳細は森学園ホームページ（<https://mori.ac.jp/>）をご確認ください。



<関係者からのお問合せ先>

学校法人森学園 本部 TEL：045-410-7757 MAIL：admin29@mori.ac.jp